

この度はユニフレーム製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

REVOベース 300/REVOベース サイドウォール 300 共通取扱説明書

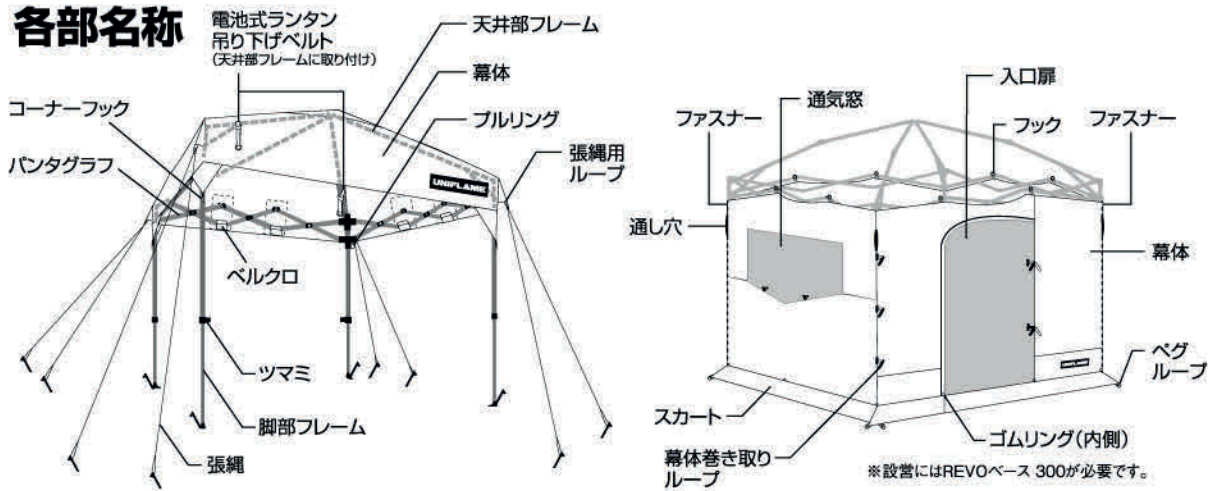
REVOベース サイドウォール 300はREVOベース 300専用です。それ以外の製品に取り付けしないでください。

取扱説明書はお読み頂いた後も大切に保管してください。

お出かけになる前に

ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みにになり、部品の不都合がないか確認し試し張りをしてください。

各部名称



【REVOベース 300】

幕体	ポリエステルオックスフォード150D 耐水圧1,500mm以上
フレーム・パンタグラフ	スチール

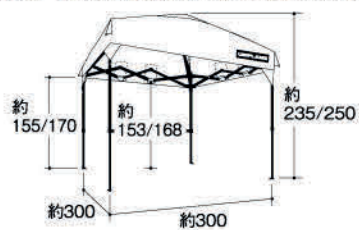
【REVOベース サイドウォール 300】

幕体	生地部	ポリエステルオックスフォード150D 耐水圧1,500mm以上
	メッシュ部	ポリエステル

設営時寸法(単位 cm)

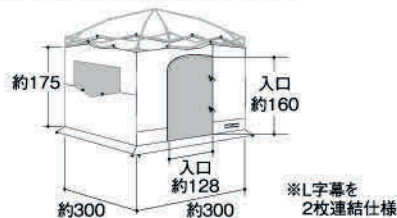
REVOベース 300

※サイドウォール 300使用時はHigh(250cm)で設営してください。



REVOベース サイドウォール 300

※REVOベース 300に取り付けてご使用ください。



部品表

【REVOベース 300】

- ・幕体×1
- ・ベグ×12本
- ・張縄×8本
- ・電池式ランタン 吊り下げベルト×2本
- ・収納ケース×1
- ・一体型フレーム (天井部フレーム・脚部フレーム・パンタグラフ)

※フレームおよびパンタグラフが破損した場合はスペアがございます。当社までお問い合わせください。

【REVOベース サイドウォール 300】

- ・幕体×2
- ・ベグ×10本
- ・収納ケース×1

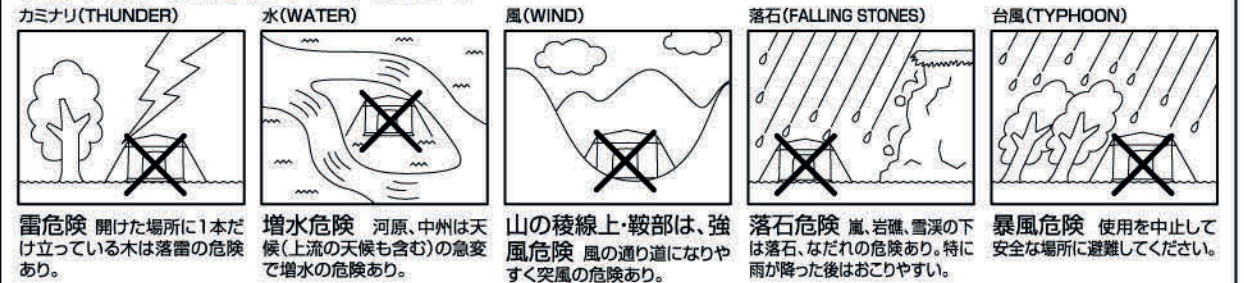
※設営にはREVOベース 300が必要です。

警告

- ①REVOベース 300内では、ガス、ガソリン、灯油、木炭等の燃焼物や燃焼器具を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒の危険があります。
- ②REVOベース 300内でのタバコやキャンドルの使用、また付近での焚き火や花火は避けてください。可燃性繊維のため、生地への損傷や火災の危険があります。
- ③REVOベース 300は、積雪時の使用はできません。また使用中、雪が降りはじめたら速やかに撤収してください。
- ④サイドウォール 300の設営はREVOベース 300が設営された状態で行ってください。サイドウォール 300だけの自立はできません。
- ⑤気象条件の悪化が予想される場合は使用を中止して安全な場所に避難してください。
- ⑥お子様だけでのご使用はお避けください。

設営場所の注意

下記の場所では設営しないでください。



設営時のご注意

- ①設営場所はできるだけ、平らで水はけが良く、風の弱い場所を選んでください。
- ②設営は2人以上で行ってください。1人で設営した場合、無理な力がかかりやすくフレーム、生地などが破損する場合があります。
- ③常設用としては使用しないでください。紫外線により生地の劣化が早まります。
- ④フレームには、本製品以外のものを掛けないでください。

撤収後のご注意

- ①ご使用後のREVOベース 300・サイドウォール 300は汚れを落とし、よく乾かしてから日光のあたらない、風通しの良い所で保管収納してください。濡れたまま放置するとカビや生地の色移り、劣化の原因となります。
- ②海辺でご使用になったときは、水洗いをして塩分を落としてください。塩分が残ったまま放置するとメッシュ部、生地部、フレーム等の劣化が早まります。
- ③フレームの接続部の砂、土はよく落としてください。接続部にキズがつきフレームが抜けなくなる場合があります。

メンテナンス

- ①撥水性が落ちたとき
長期間の使用でREVOベース 300・サイドウォール 300が水をはじかなくなったら、汚れを落とし市販の防水スプレーを塗布してください。
- ②ファスナーの動きが悪くなったとき
ファスナーの滑りが悪くなったときは、ゴミや汚れを取り除き、潤滑剤が口を塗り、数回開閉させてなじませてください。
- ③シームテープが浮いてきたとき
縫製部のシームテープが浮いてきたときは、アイロンを低温で当てれば再び接着します。完全に劣化した場合は市販のシームテープやシームシーラー(目止め液)をご利用ください。
- ④生地引き裂きキズや穴があいたとき
市販のリペアシートを使用して補修できます。応急時はガムテープ等で補修しておけば広がりをおさえることができます。

※フレーム・パンタグラフが破損した場合
長くご使用の間にフレーム・パンタグラフが破損した場合、破損部分のみ交換修理できます。スペアのご用意がございますので当社までお問い合わせください。

アフターサービス

- ①万一、不良品等が生じた場合
当社までお問い合わせください。無償修理、又は交換させていただきます。
- ②誤ったご使用による故障等に関しては一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ③大きな破損が生じた場合や部品の交換、紛失などは当社までお問い合わせください。
- ④フレーム・パンタグラフが長くご使用の間に破損した場合、破損部分のみ交換修理できます。

結露について (サイドウォール 300使用時)

- ①内部は日中と夜間との気温の温度差が激しい時や湿度の高い時ほど結露が生じます。
- ②結露により内側に付着した水滴が急な雨や風により落ちてくる事がありますのであらかじめご了承ください。

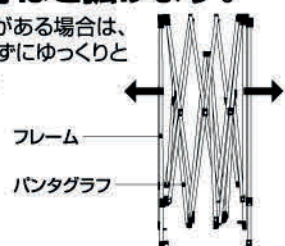
設営方法

※設営・撤収は必ず2人以上で行ってください。1人で設営した場合、無理な力がかかりやすく生地などが破損する場合があります。

REVOベース 300

1 4隅のフレームを持ち、パンタグラフを半分ほど拡げます。

引っ掛かる部分がある場合は、無理な力をかけずにゆっくりと行ってください。



2 フレームとパンタグラフをいっばいに拡げ、固定します。(4ヶ所)

フレームとパンタグラフをカチッと音がするまで拡げると、接続部(図1)が自動でロックされます。

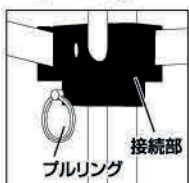
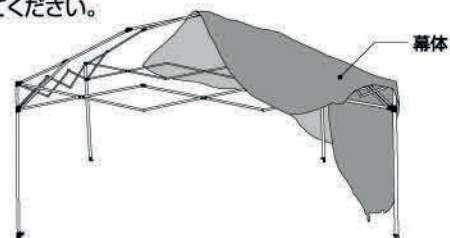


図1

※撤収の際はプルリングを引っ張り、接続部のロックを解除します。

3 天井部のフレームに幕体をかぶせます。

フレームに縫製線を合わせてかぶせ、幕体の位置を決めてください。



4 4本の脚部の高さを固定します。

脚の高さは2段階で調節可能です。(天井高235/250cm)(図2)
使用する高さの穴位置に合わせて、カチッと音がするまでフレームを伸ばし、ツマミをロックしてください。

⚠ 引きすぎると脚部が抜けまのでご注意ください。

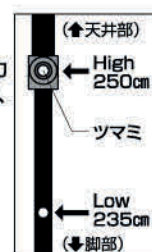


図2



※サイドウォール 300使用時はHigh(250cm)で設営してください。
※撤収等の際は脚部フレームのツマミを押してロックを解除し、操作してください。

5 幕体を固定します。

幕体のコーナーフックをフレームの穴に引っ掛けます。(4ヶ所・図3)
幕体の裏側にあるベルクロをパンタグラフに固定してください。(①の8ヶ所)

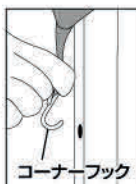
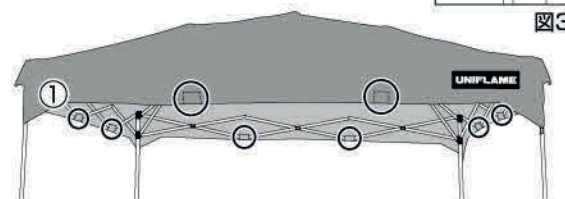


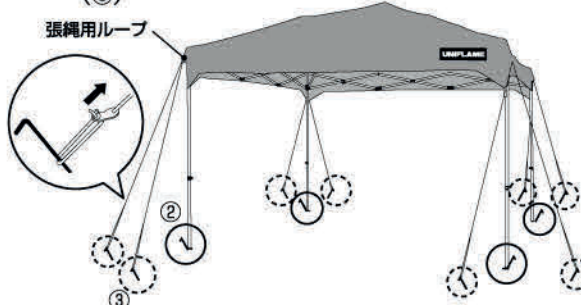
図3



※サイドウォール 300を使用する場合はコーナーフックは引っ掛けず、ベルクロのみ固定してください。
(コーナーフックはサイドウォール 300設営後に引っ掛けます。)

5 ペグで固定します。

フレームをペグで固定し(②)、張縄を幕体にある張縄用ループに結びます。
ペグを打ち、張縄をかけて自在で調整し、固定します。(③)



6 電池式ランタン吊り下げベルトを取り付けます。

必要に応じて電池式ランタン吊り下げベルトを天井部のフレームに取り付けます。



撤収方法

設営と逆の手順で行ってください。
撤収については設営と逆の手順で行ってください。

電池式ランタンを吊るす際のご注意

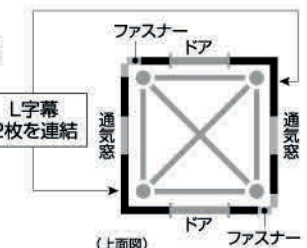


電池式ランタンを吊るす際は、軽量タイプ(200g以下)をご使用ください。また、フレーム中央付近はたわみやすく、フレームを傷める原因となりますのでお避けください。

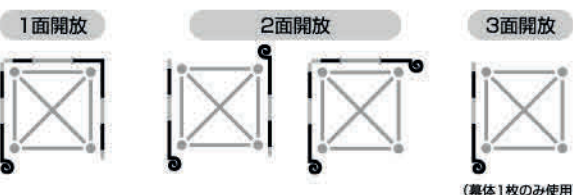
REVOベース サイドウォール 300

REVOベース 300を組み立て、幕体のコーナーフックを引っ掛けていない状態から取り付けてください。

REVOベース サイドウォール 300は2枚のL字幕をファスナーで連結させて作ります。

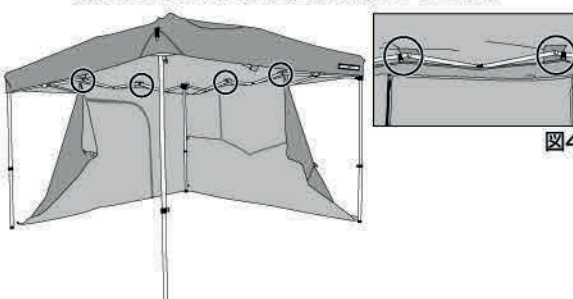


幕体を巻き取ることで、開放面を変更することができます。



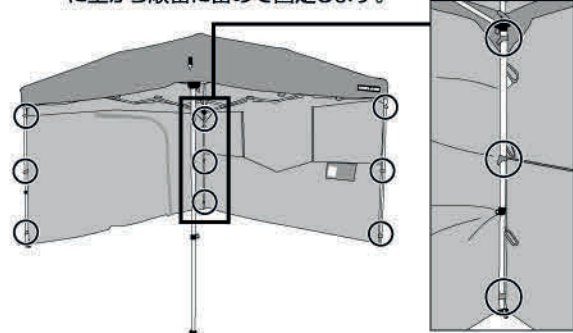
1 幕体(1枚)をセットします。

幕体のフックをREVOベース 300のパンタグラフに引っ掛けます。(4ヶ所)
脚部フレームに固定しにくくなる場合がありますので、フックは必ず図4の位置に引っ掛けてください。



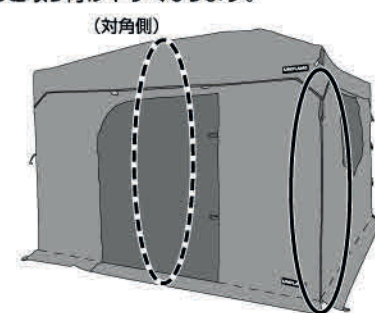
2 幕体を脚部フレームに固定します。(9ヶ所)

幕体のベルクロをREVOベース 300の脚部フレームに上から順番に留めて固定します。



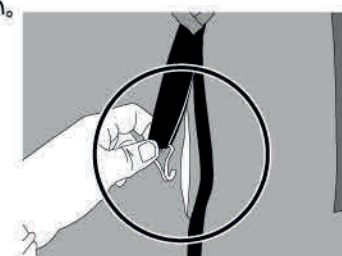
3 もう1枚の幕体を同様にセットします。

1 2 と同様の手順でフレームに固定し、2枚の幕体をファスナーで連結します。(2ヶ所)
※取り付けがきつい場合は脚部全体を少し内側に入れると取り付けやすくなります。



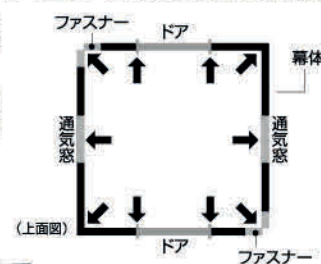
4 REVOベース 300の幕体を固定します。(4ヶ所)

REVOベース 300の幕体にあるコーナーフックを、REVOベース 300の脚部フレームの穴(4ヶ所)に引っ掛けて固定します。
サイドウォール 300の幕体にある通し穴に通してセットしてください。



5 幕体をペグダウンします。(10ヶ所)

幕体の内側にあるゴムリングをペグダウンします。
ゴムリングは右図の10ヶ所の下部にあります。



6 必要に応じてスカートをペグダウンします。

風が強い場合、スカートにあるペグリングをペグダウンしてください。まくり上げを防ぎ、風の吹き込みを軽減します。(8ヶ所)※市販のペグをご使用ください。

撤収方法

設営と逆の手順で行ってください。
撤収については設営と逆の手順で行ってください。